



元気いっぱい、笑顔いっぱい、社会に出ることを心待ちにした児童がそろう学校

朝霞第二小だより



【学校教育目標】 進んで学習する子(知) 仲良く助け合う子(徳) 健康で明るい子(体)

〒 351-0007 朝霞市岡3丁目1番13号 TEL048-461-0042
令和5年 12月1日 (12月号) 児童数 721名 (11/27現在)

知・徳・体の成長に寄り添う

校長 宮腰 高子

イチョウの葉がきれいに色づきました。朝晩には冬の訪れを感じるようになり、気がつけば子供たちの服装も長袖姿になってきています。

先日の11月30日に、朝霞市教育委員会研究開発学校指定研究発表会(国語)を開催し、市内外から多くの教職員の皆さんに授業を中心とした本校の取組を見ていただきました。本校の研究主題は「自分の考えを持ち、主体的に活動する児童の育成」です。子供たち一人一人が様々な関わり合いの中で学びを深めていき、さらに、学びで得た力を国語の授業にとどまらず様々な場面で使える姿を思い描き、指導法を研究してきました。研究協議では参加者から様々な感想やご意見を頂きました。この研究で得たことを、日々の授業に生かし子供たちのさらなる成長を支えていこうと気持ちを新たにしているところです。また、研究を進める中で、ご家庭でご協力いただいている音読や読書、そして会話のやりとり等も子供たちの学びの支えとなっていると強く感じました。ご協力に感謝いたします。

12月5日(火)には「風の子マラソン」が実施されます。どの学年も地域に出て走ることであります。地域の皆様にはご迷惑をおかけしますが何とぞ、ご理解とご協力を頂きますと共に、頑張る姿を応援していただければと思います。長いコロナ禍では日常生活も含め運動の機会が極端に減っていました。今はコロナ禍以前の生活に戻りつつありますが子供たちの様子を見ると、外で積極的に遊ぶ子と、室内で過ごす子との二極化が顕著であると感じます。大人は、これまでも運動の経験があるため、運動の楽しさを知っています。体を思い切り動かし汗をかく爽快さ、競い合ったり協力したりして関わり合う面白さ、根気強く練習することで自分の成長を感じ目標を達成する喜び等、運動には沢山の魅力があります。



【走り方の確認をする様子】

しかし、今の子供たちは、この楽しさを味わう経験が少ないままです。また、楽しさだけでなく、小学生の時期は運動能力の素地が刺激によって著しく伸びる黄金の時期だとも言われています。「風の子マラソン」という一つの目標が終わりますが、これからも様々な場面において、体力をつけると共に運動の楽しさを味わえるように取り組んでいきます。

今年度も10・11月の「いじめ防止月間」に「いじめ防止標語コンクール」を実施しました。いじめの定義は「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを含む)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」(いじめ防止対策推進法)とされています。

本校では、人権尊重の精神を基盤に『いじめはどこでもだれにでも起きる、早期発見・即時対応、100%解消に取り組み被害者を守り通す』という前提に立ち、全教育活動を通して指導に努めています。

本校学校ホームページに本校の「いじめ防止基本方針」等が載っています。気になることがありましたら、ためらわず担任や学校にご連絡くださるようお願いいたします。

えがお 笑顔あふれるあたたかい学校宣言

わたしたちは、「ほごり」ある二小のなかまです。

わたしたちはいじめをしません
ゆるしません
見て見ぬふりをしません

わたしたちは自分を見つめ 正しい判断・正しい行動をします。

令和5年度 朝霞第二小学校いじめ防止標語コンクール 優秀作品

- ・そのつよさ だれかをまもる ためにつかおうよ (1年1組 森田 輝さん)
- ・心のきずを けすのは むずかしいぞ (2年1組 瀬下 結介さん)
- ・それはいじめです あなたの行動みじめです (3年1組 宮本 夢希さん)
- ・いじめゼロ クラスの笑顔が 百点満点 (4年3組 五橋 蓮さん)
- ・男の子「だから」、女の子「だから」じゃなくいい 人を否定せず
- ・自分らしく生きる事が大切だから (5年4組 小林 穂希さん)
- ・見てだけ だまっているのも いじめだよ (6年1組 西川 孔恵さん)
- ・笑顔でいても 心のなかには ないている (あすなろ 栗松志帆さん)

二小はいじめをゆるしません